完璧とは、十分に良い物の敵である

完璧主義者の皆様ご機嫌よう。

この世で最も輝く場所はどこだかご存知でしょうか？

それは遺体が納められた棺の中です。

その棺の中に詰まっているのは、世に出る事が無かった、この世界を良い方向へ変化させたかもしれないアイデアや商品サービス。

完璧を追い求めたが故、決して完成する事無く、日の目を見る事が無かったそんな光に対して、参列者達は悔やんで涙しているのです。

あなたが作ったり書いたりしている物、胸に秘めているアイデアは常に向上の余地を残しています。常にです。だからこそ、いつまでも地下室にこもっていないで、十分に良い物にそれが達した時、地上に出ましょう。

あなたのアイデアや商品サービスが色んな人の目に触れる事で、改善点などのフィードバックや、そのまま遠くまで行くかもしれません。

どちらにせよ、この世に解き放たない限り、そのアイデアや商品サービスは檻の中のホワイトタイガーと同じ、ただの観賞用。

「真似されるのが怖い？」

ただでさえ、起業家が少ない日本で、パクる事が悪とされる文化で、各々の仕事で忙しい誰かがあなたのアイデアや商品サービスを奪く確率の低さ。

例え、真似されたとしても、真似した人間には生みの親であるあなたのような情熱は無い。その分、あなたの方がアドバンテージがあるのです。

そして、良いアイデアや商品サービスが真似されるのは良い物である証拠であり性であると言う事を念頭に、Amazonがじゃんじゃん運送するかように、あなたが創造した価値も市場に運送しまくりましょう！